学校番号	3010

令和5年度　国語科

教科	国語	科目	現代文B	単位数	2	年次	3
使用教科書	新　高等学校　現代文B　（明治書院）						
副教材等	常用国語便覧（浜島書店）・新　読む力・考える力を高める現代文学名作選（明治書院） 常用漢字ダブルクリア（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指します。そのために二年生の「現代文B」で学んできた近現代の小説、評論、詩など様々なジャンルの文章をさらに発展的に学習して、「読む力」「聞く力」「話す力」「書く力」をつけていきます。漢字の学習帳を使って小テストを行ったり、「読解力」をつけるために問題集も活用して学習していきます。また、作文、俳句、エッセイなどのコンテストにも積極的に応募して、「書く力」も鍛えていきます。

2　学習の到達目標

・文章の的確な読解を通して、客観的に理解・認識する力、主体的に思考・判断する力を養う。
・文学作品を通して、日本語の美しさや表現の豊かさを味わい、その読解によって、自分自身や他の世界に対する感受性や想像力を
育む。
・現代社会において求められる多様な言語能力を養うため、自身の考えを効果的に伝える表現力・コミュニケーション力を高める。
・生涯にわたり読書に親しむ習慣を身に付ける。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す能力・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	言葉を通じて積極的に他者や社会と関わったり、思いや考えを深めたりしようとするとともに、言葉の価値を認識し、自覚的に読書に親しんで言葉を効果的に使おうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し適格に聞き取ったり、話し合ったりして自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文書を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノート・プリントの整理 定期考査の成績
評価方法	行動の観察 記述の点検（ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト レポート	行動の観察 記述の点検（ノート、ワークシート等） 定期考査 朗読	行動の観察 記述の点検（ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト	行動の観察 記述の点検（ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト	行動の観察 記述の点検（ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
Ⅰ	評論	絵はすべての人の創るもの	○		○	○	○	e:評論の文章について、具体的事例と論の展開との結びつきを学ぶ。 d:絵を見ることは絵を創ることでもあるという筆者の考え方を読み解く。 a:絵に感動することが人間形成、精神の確立となることについて具体的に考えてみる。 c:個性について、自分自身の考えを持つ。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノート・プリントの整理 定期考査の成績
	評論	「間」の感覚				○	○	d:・評論の文章について、対比によって論点を明確にしていく論じ方を学ぶ。 e：文化の独自性と相互の差異について比較文化論の観点から認識を深める。日欧の自然感情や建築様式の相違による「空間」意識の相違をつかむ。日本人の行動様式を「間」の感覚の特性からとらえる。	
	随想	おまえはどこに立っている		○		○	○	e:随想を読み、ものの捉え方や文章の組み立て方を学ぶ。 d:一つの出会いが、どのように人生に深く関わることがあるか、表現に注意して読み味わう。 b:「絵はすべての人のるもの」と読み比べて、その共通点を話し合う。	

小説	マスク	○	○		○	○	e:小説の人物、情景、心情を的確にとらえる。 b:表現の特徴や、主題について話し合う。 d：作品中での「マスク」の象徴的な意味と効果をつかむ。 e:登場人物の心理を受験という状況に即してとらえる。	
評論	小説とは何か	○	○		○	○	a:評論の文章について具体例に沿った論の展開の仕方を学ぶ。 d:「遠野物語第二十二節」における「くるくると回りたり」の意味を読み解く。 e:小説が「言葉」を現実化することに本質があるということについて、まとめる。 b:小説のおもしろさとは何か、話し合う。	
詩	わたしが一番きれいだったとき 九月の風 流星				○	○	d:韻律に注意し、描かれた情景や心情にふさわしい朗読を工夫する。 e:語句の意味、用法を理解し、語彙を豊かにする。また、文体や修辞など表現上の特色をとらえて、作品を深く味わう。歴史的背景を踏まえることで詩の理解が深まることを知る。	

2	小説	怖れ	○			○	○	e:空想によって作られた小説のおもしろみをつかむ。 d:構成や表現における作者の工夫を的確に読み取る。 a:好きな絵、音楽から想像して、一つのまとまった物語を作り上げる。	
	評論	「世間」とは何か	○	○			○	a:評論の文章について論理の展開や要旨を的確にとらえる。ものごとを根本から考える姿勢を学ぶ。 e:人間、社会、自然などについて問題意識を持ち、自己の考えを深める。 b:「世間」をめぐる筆者の批判意識を明らかにして新たな社会関係への展望を話し合う。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノート・プリントの整理 定期考査の成績
	短歌	わが腕に涙ながして	○			○	○	d:韻律に注意し、描かれた情景や心情にふさわしい朗読を工夫する。 e:語句の意味、用法を理解し、語彙を豊かにする。 a:文体や修辞など表現上の特色をとらえ、作品を深く味わう。個々の作者の作風の特徴をつかみ、感動の焦点を明らかにし、作品の主題を明らかにする。	

3	俳句	耕せば動き	○			○	○	d:韻律に注意し、描かれた情景や心情にふさわしい朗読を工夫する。 e:語句の意味、用法を理解し、語彙を豊かにする。 a:文体や修辞など表現上の特色をとらえ、作品を深く味わう。	
	小説	私の個人主義	○				○	a:評論の文章について論理の展開や要旨を的確にとらえる。 e:筆者の言う「個人主義」について正確に理解する。表現上の特色を理解する。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノート・プリントの整理 定期考査の成績

※ 表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す能力・聞く能力
c:書く能力　d:読む能力　e:知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することになるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。